

ケアプランデータ連携システム
ベンダ試験計画書
(標準仕様V4対応版)

令和8年 3月26日

国民健康保険中央会
保健福祉部

目次

内容

1. 概要	1
1.1 目的	1
1.2 試験フロー	2
2. ベンダ試験申込方法	3
2.1 対象者及び前提	3
2.2 申込みの詳細	3
2.2.1 申込formへアクセス.....	3
2.2.2 申込form送信.....	3
2.2.3 申込受付およびベンダ試験にかかる情報の送付	3
2.2.4 申込受付期間	3
3. 試験内容	4
3.1 詳細説明	4
3.1.1 環境	4
3.1.2 テストデータ取込.....	4
3.1.3 データ出力	6
3.1.4 試験シナリオ.....	7
3.1.5 試験の回数.....	8
3.1.6 試験完了報告及び国保中央会HPの結果掲載について	8
3.1.7 国保中央会HPの結果掲載について	8
4. テスト実施期間	8
5. 注意事項	8

1. 概要

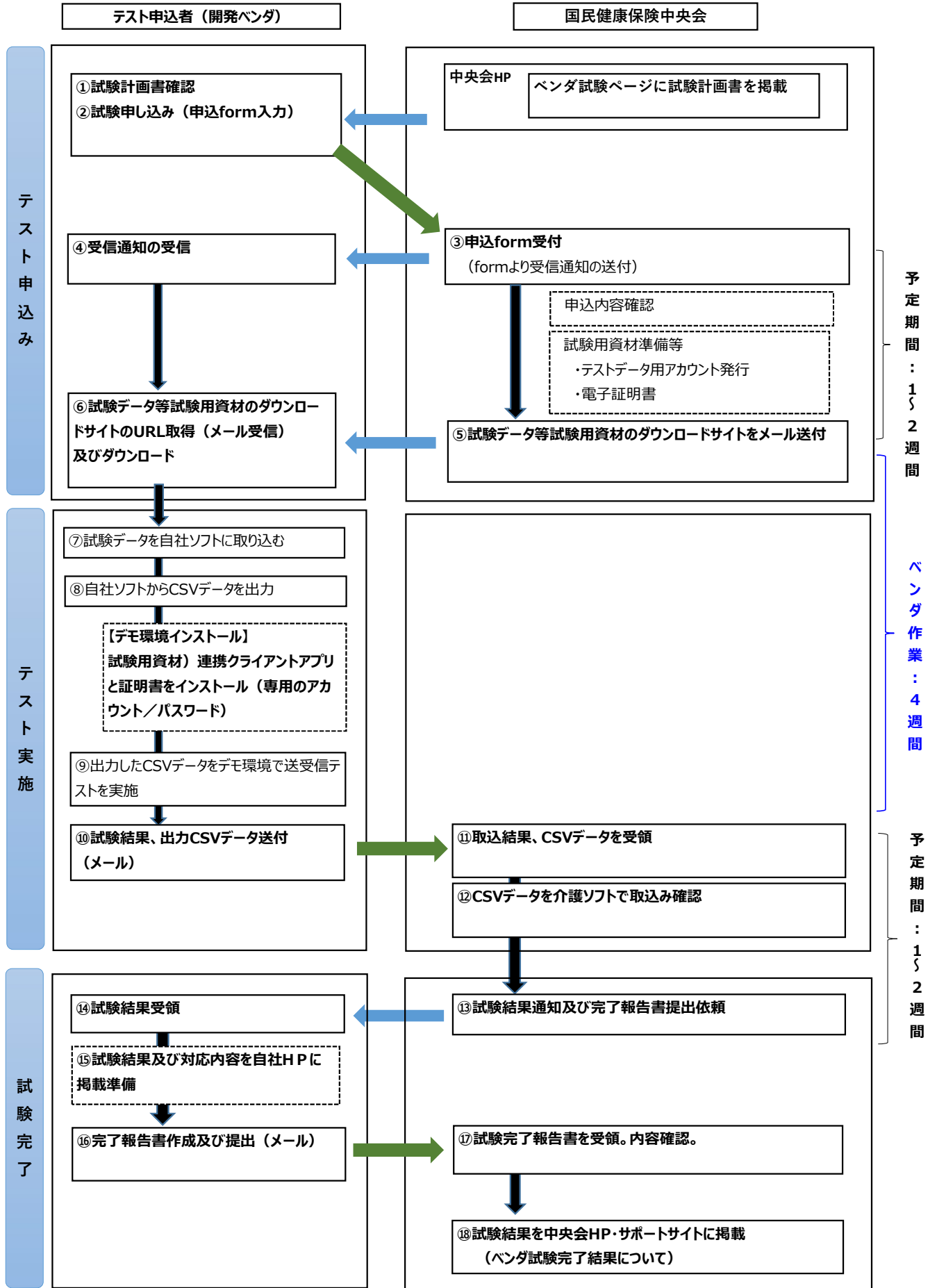
1.1 目的

国民健康保険中央会（以下、中央会という。）では、居宅介護支援事業所と介護サービス事業所との間で毎月やりとりされているケアプランをデータで連携するための「ケアプランデータ連携システム」（以下、本システムという。）を開発している。このシステムを介護事業所のパソコンに導入していただくことで、サービス提供票や居宅サービス計画書など、これまで FAX や郵送などでやりとりしていた書類が、システム上でセキュアに送受信できるようになり、これまで実施していた「紙の情報を介護ソフトに転記する」といった作業の負担軽減や、転記ミスの減少も期待できる。

現状、同じ介護ソフト同士であればデータ連携が行えるケースがあることは承知しているが、異なるベンダが開発した介護ソフト間ではデータ連携が行えず、FAX や郵送などで対応しているケースが多いと承知している。

介護ソフトが厚生労働省の示す標準仕様に基づいてケアプランデータを作成することで、異なるベンダが開発した介護ソフト同士でもデータ連携を行うことが理論上可能となるが、各介護ソフトが本システムで問題なく連携できることを検証するため、中央会がベンダ試験環境を提供し、実施していただくものである。ただし、本テストの実施主体は申し込みをしたベンダにあり、さらには試験結果の公表等における責任もベンダにあることについて、ご留意いただきたい。あくまで中央会は試験環境の提供者および試験実施の支援者であることをご承知おきください。

1. 2 試験フロー



2. ベンダ試験申込方法

2.1 対象者及び前提

試験対象は、居宅介護支援事業所および介護サービス事業所（介護予防、総合事業を含む）が利用する介護ソフトの開発を行うベンダとする。
試験の申込みにあたっては、介護保険最新情報vol.1287及びvol.1320で示されている厚生労働省ケアプランデータ連携標準仕様（V4）に準拠した介護ソフトの開発が完了していることを前提とする。尚、開発中で、その完了時期の目処がたっている場合に限り、当会の判断で申込みを許諾する。

※ケアプランを利用する介護サービス事業所、及び未開発ベンダは、本試験の対象ではない。

2.2 申込みの詳細

2.2.1 申込formへアクセス

中央会のホームページから「ケアプランデータ連携システムベンダ試験申込form」へアクセスする。URL は以下のとおり。

■ベンダ試験申込フォーム

<https://forms.gle/Luqxb86drhyEwc7t6>

2.2.2 申込form送信

中央会のホームページからダウンロードした「ケアプランデータ連携システムベンダ試験申込form」に必要事項を記入し、送信する。

※ 指定の申込form以外の申込みは受け付けない。

再試験を行う場合は、試験終了後に再度申込formの送付を行うものとする。ただし、テストを実施しているがいったん中止した上で再度申し込みをしたい場合においては、速やかに中止の理由をメールで連絡し、再会したいタイミングに再度申込formを送付すること。

2.2.3 申込受付およびベンダ試験にかかる情報の送付

中央会では、申込formに従ってベンダ試験の受付確認を行った後、ベンダ試験に必要な以下のデータを申込formに記載された連絡先アドレス宛てにe-mailにて返信する。

（申込み後）

- ・試験申し込み受付の通知（メール本文）
- ・「ケアプランデータ連携システム」ベンダ試験手順書
- ・ベンダ試験用テストデータ
- ・本システムの連携クライアントアプリ及び電子証明書
- ・連携クライアントアプリログイン用のアカウント情報
- ・ベンダ試験完了報告書（ひな形）

2.2.4 申込受付期間

令和7年4月1日（火）から、厚生労働省がケアプランデータ連携標準仕様の次期バージョンを発出するまでとする。

3. 試験内容

開発ベンダは、中央会から示したテストデータを自身の介護ソフトに取り込む。また、取り込んだデータを介護ソフトのファイル出力機能を使用してCSVファイルを出力し、本システムの連携クライアントアプリにて送受信を行う。出力したCSVファイル及び送受信結果を以下のe-mailアドレスに送信する。なお、提出時の形式については「3.1.3 データ出力」を参照のこと。

e-mail アドレス： JAHIS-careplan@kokuho.or.jp

e-mail 件名： 【CP連携】ベンダ試験_データ提出（貴社名）

3. 1 詳細説明

3. 1. 1 環境

開発ベンダは、以下の環境が必要である。

- ・ 自社介護ソフトインストール環境
- ・ 本システムの連携クライアントアプリインストール環境
- ・ e-mail の送受信可能な環境

3. 1. 2 テストデータ取込

開発ベンダはテスト申込み後に中央会から送付されたテストデータ（CSV 形式）を自社の介護ソフトに取り込みを行う。
送付するテストデータは以下のデータパターンに従ったものとする。

データパターン

- D1：居宅介護支援「居宅サービス計画書」
- D2：居宅介護支援「利用票（予定）」
- D3：居宅介護支援「利用票（実績）」
- D4：介護予防支援「利用者基本情報」「家族構成画像ファイル」
- D5：介護予防支援「介護予防サービス・支援計画書」
- D6：介護予防支援「利用票（予定）」
- D7：介護予防支援「利用票（実績）」

ファイル(IF)種類	
居宅介護支援	
(1)居宅計画書	
1	利用者補足情報
2	居宅サービス計画1 表
3	居宅サービス計画1 表_削除
4	居宅サービス計画2 表
5	居宅サービス計画3 表
(2)サービス利用表（提供票）	
6	利用者補足情報
7	第6 表（サービス利用票）_予定
8	第6 表（サービス利用票）_予定削除
9	第6 表（サービス利用票）_実績
10	第6 表（サービス利用票）_実績削除
11	第7 表（サービス利用票別表）
介護予防支援	
(1)居宅計画書	
1	利用者基本情報
2	利用者基本情報_削除
3	利用者基本情報（別表1） 1日の生活・過ごし方(タイムスケジュール)
4	利用者基本情報（別表2） 現病歴・既往歴
5	家族構成画像ファイル
6	介護予防サービス・支援計画書
7	介護予防サービス・支援計画書_削除
8	介護予防サービス・支援計画書（別表） 支援計画
(2)サービス利用表（提供票）	
9	利用者補足情報
10	第6 表（サービス利用票）_予定
11	第6 表（サービス利用票）_予定削除
12	第6 表（サービス利用票）_実績
13	第6 表（サービス利用票）_実績削除
14	第7 表（サービス利用票別表）

3. 1. 3 データ出力

開発ベンダは自社の介護ソフトからケアプランデータの出力（CSV形式）を行い、中央会に送付する。送付するテストデータは以下のデータパターンに従ったものとする。なお、テストデータの内容については、計画書、予定、実績に一定の関連性を持たせることとする。

データパターン

- D1：居宅介護支援「居宅サービス計画書」
- D2：居宅介護支援「利用票（予定）」
- D3：居宅介護支援「利用票（実績）」
- D4：介護予防支援「利用者基本情報」「家族構成画像ファイル」
- D5：介護予防支援「介護予防サービス・支援計画書」
- D6：介護予防支援「利用票（予定）」
- D7：介護予防支援「利用票（実績）」

データ格納形式

以下の7フォルダに分けて格納したデータを圧縮して所定のメールに送信すること。
圧縮ファイルのファイル名は申込formに記入した社名とする。（例：国民健康保険中央会.zip）

<フォルダ名>

- D1.居宅介護支援「居宅サービス計画書」
- D2.居宅介護支援「利用票（予定）」
- D3.居宅介護支援「利用票（実績）」
- D4.介護予防支援「利用者基本情報」「家族構成画像ファイル」
- D5.介護予防支援「介護予防サービス・支援計画書」
- D6.介護予防支援「利用票（予定）」
- D7.介護予防支援「利用票（実績）」

<圧縮(zip)ファイル用パスワード>

試験用資材に同梱するパスワードを使用すること。

3. 1. 4 試験シナリオ

「1. 2 試験フローの、⑦「テストデータを自社介護ソフトに取り込む」、⑧「自社介護ソフトからCSVデータを出力」における作業を以下の順序に従い作業すること。なお、開発ベンダが出力するデータの内容については、原則として開発ベンダに任意で作成してもらうこととするが、効率化の観点から、⑦で取り込んだデータをそのまま出力するフローを案として示す。添付資料に記載のない項目については開発ベンダの判断で作成することとする。

⑥テストデータを自社介護ソフトに取り込む

1. D1:居宅サービス計画書データを介護ソフトに取り込む
2. D2:提供票（予定）データを介護ソフトに取り込む
3. D3:提供票（実績）データを介護ソフトに取り込む
4. D4:利用者基本情報、家族構成画像ファイルを介護ソフトに取り込む
5. D5:介護予防サービス・支援計画書データを介護ソフトに取り込む
6. D6:提供票（予定）データを介護ソフトに取り込む
7. D7:提供票（実績）データを介護ソフトに取り込む

⑦自社介護ソフトからCSVデータを出力

1. D1:居宅サービス計画書データを介護ソフトから出力する
2. D2:提供票（予定）データを介護ソフトから出力する
3. D3:提供票（実績）データを介護ソフトから出力する
4. D4:利用者基本情報、家族構成画像ファイルを介護ソフトから出力する
5. D5:介護予防サービス・支援計画書を介護ソフトから出力する
6. D6:提供票（予定）データを介護ソフトから出力する
7. D7:提供票（実績）データを介護ソフトから出力する

3. 1. 5 試験の回数

1回の申込みにつき、1回の試験（データ取込から本システムを利用したデータ送受信まで）を実施する。

※ 1回の試験は、1週間から2週間程度で完了する想定。

再試験を希望するベンダは、必ず現在申込み分の試験実施後、次回分の申込みを行うものとする。

3. 1. 6 試験完了報告及び国保中央会HPの結果掲載について

ベンダ試験の結果を貴社ホームページ（自社取扱いの Web ページを可とする）に掲載し、完了報告書とともに、以下の e-mail アドレスに送信する。

e-mail アドレス： JAHIS-careplan@kokuho.or.jp

e-mail 件名：【CP連携】ベンダ試験_完了報告書の提出について（貴社名）

3. 1. 7 国保中央会HPの結果掲載について

貴社ホームページに掲載いただきたい事は以下の通りとし、その内容を確認した後、国保中央会HP及びサポートサイトに「ベンダ試験完了会社（V4対応）」として掲載する。データ連携対応表は掲載必須とする。

- ・ベンダ試験V4対応版の完了結果
- ・データ連携対応表
- ・メール、電話等の問合せ先（*専用でなくとも可）
- ・データ連携方法資料の掲載（動画、文章等）

4. テスト実施期間

基本、貴社がベンダ試験用資材メールを受け取ってから、4週間とする。

尚、この間に貴社と中央会間で確認等でやり取りが発生している場合はその限りではない。

注：中央会は、土・日・祝祭日・年末年始期間は対応を実施しない。

5. 注意事項

- ・本テストの実施主体は開発ベンダにある。
- ・本試験を実施するにあたり、試験結果を自社 HP 上に公表することに同意したものとみなす。
ただし、試験結果の自社 HP への公表等における責任は開発ベンダにある。
- ・今回のベンダ試験にてエラーが検出されなかった場合であっても、処理に関してすべての保証を行ったということではない。
- ・試験結果はいかなる場合も開発ベンダのプログラムおよびデータを保証するものではない。
- ・再試験の申し込みを行った開発ベンダにおいては、必要と判断した場合のみ試験の実施を行う。